

— 否定的感情の場合 —

中国短大 ○近藤信子 宇野保子 姫路短大 土井千鶴子

梅花短大 家本 修 鳴門教育大 藤原康晴

目的 着装の影響によってもたらされる我々の感情状態は多面的であり、それを表現する用語も多様である。非機能的な被服や場違いな被服を着用したときなどの気分は、悪い方向に変化することが多く、否定的な意味内容の感情を経験することになる。本報では、着装時に生起する否定的な感情状態を表わす用語を収集し、その類型化および階層構造を明らかにすることを目的とした。

方法 感情状態を表現する用語の収集については、女子学生に、これまでの着装によって生じた否定的な感情を、その時期、場面、服装とともに言語で表現させた。収集された用語の中から、感情状態を表わすもののみを選び、類似している用語は代表的な1語だけ選択し、59語に集約し、以後の分析に供した。選定した用語を1語ずつ記入したカード59語を1組とし、評定者である女子学生に配布し、意味内容が類似していると考えられるものどうしをグループ化させた。それをもとに用語間の類似率を算出し、類似率から距離行列を作成し、ワード法によるクラスター分析を行った。

結果 クラスター分析を行った結果、①「いらだち」②「憂うつで悲観的」③「みじめで恥ずかしい」④「だらしなさ」⑤「じめじめしたうっとおしさ」⑥「気まずさ」⑦「堅苦しい圧迫感」⑧「ドキドキした緊張感」⑨「おどおどした落ち着きのなさ」の9個の基本クラスターを得た。最終段階では①～⑤、⑥～⑨が順次結合した「倦怠的不快」、「抑圧的不快」の2クラスターが形成された。